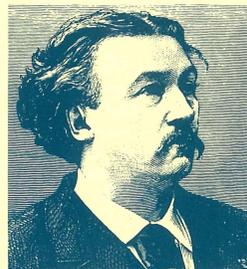


ジャーナリズムとマスメディアの創世紀であった19世紀フランスで、古典文学の世界を視覚化することに、豊かな才能とエネルギーを費やした天才ギユスターヴ・ドレの代表版面集「神曲」を、吉野大作&プロステイテュートのライヴ演奏をバックに3面マルチ・スクリーンにダイナミックに自在に映し出す。映像にロックの響きがたたみかける。さらに講演を加え、ギユスターヴ・ドレとその時代の魅力を探る。

ギユスターヴ・ドレ (1832-1883・仏)

幻想の版画家として知られる、19世紀を代表するイラストレーター。伝説に包まれた華麗な生涯の中で「神曲」、「アーサー王伝説」等の古典を、圧倒的な質と、量、精巧な木口木版で次々に視覚化。西欧人の意識下深く、一種の共同幻想として潜在する程の影響を与えつづけている。



「神曲」 虚空を奇力溢しながら吹きすさぶ嵐の中にあつては他はもまして風に歸り、無切れのように紙をなげな。あの二人を静り合つてなたいのが…… (地獄篇第3歌)

電 氣 紙 芝 居

『天国と地獄』

ダンテ「神曲」より

原作 ダンテ・アリギエーリ
美術 ギユスターヴ・ドレ
音楽 吉野大作
(ライブ)
&
(プロステイテュート)

- と き 11月19日(土) 6:00~8:30
- と ころ 河合塾千種校 6 F SDPホール
- 会 費 当日600円
前売り400円
- お問い合わせ 河合塾千種校
(052)733-7581(内204)

講 演 6:00 <SFの世界にみる天国と地獄>

笠井 潔

略歴=1948年東京生。処女作「バイバイ・エンジェル」で角川小説賞受賞。ミステリー、SFの分野で活躍。

上 演 7:00 電気紙芝居
{ 「天国と地獄」
8:30

主 催 学校法人 河合塾
ナゴヤ・アート・フォーラム
プロデュース 谷川晃一
谷口江里也
谷口江里也
乙峰雅一
訳・構成 NADIA FOUNDATION
撮 影 学校法人 河合塾
資料提供 学校法人 河合塾
企画・制作 ナゴヤ・アート・フォーラム

NAGOYA ART FORUM

創立50周年記念 学校法人

河合塾

千種校 〒464 名古屋市千種区今池2の1の10 ☎(052)732-5085

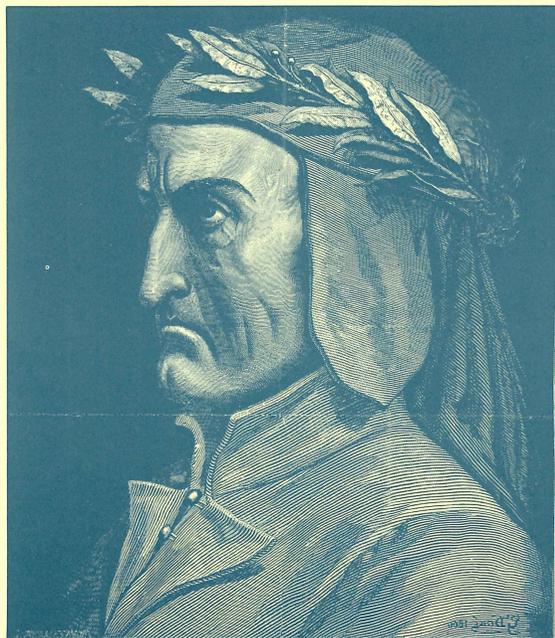
夜明け時。夢と夢とのうつつあい。金色の羽根の翼を披けた大鷲を見たように思われた。やがてそれはいく度か空を巡回すると、雷光のように降りてきて私を罹れや大高く、火焔炎へと舞いあがる。(煉獄篇第9歌—煉獄への到着)

電(気)紙(芝)居

ダンテ「神曲」より

『天国と地獄』

原作 ダンテ・アリギエーリ
美術 ギュスターヴ・ドレ
音楽 吉野大作
(ライブ) &
プロステティユート
〔記念講演〕
作家 笠井 潔



「ギュスターヴ・ドレ」ってダレ？

ギュスターヴ・ドレ——ほとんどの方が、この偉大な画家の名前を知らないでしょう。でも葛飾北斎や安藤広重といった日本の画家なら御存知のはずです。広重の「東海道五十三次」を見れば、当時の生活様式、農民や町民の生き方などがよくわかります。現代に生きる私たちが数百年も昔のことを知るのに、浮世絵や錦絵などが大きな助けとなっているのです。「文字」では表現できない部分を「絵」が伝えてくれるわけです。

さて、ギュスターヴ・ドレについてですが、彼もまた版画という「絵」のもつ特徴を生かして、多くの人々に「文学」の世界を伝えたのでした。

ドレは1832年、フランスのアルザス地方ストラスブールに生まれました。土木技師の父親は、息子のドレを自分と同じように建設技師にさせたかったのですが、幼ないころから画家としての才能が芽ばえ、風刺雑誌を舞台に話題作を発表する若手として名声を博しました。

ドレは50年の生涯で、多くの古典文学に全精力を注ぎました。「神曲」「ドン・キホーテ」「聖書」「アーサー王伝説」など古典中の古典とも呼べる代表作を次から次へと手がけたのです。重要な場面をひとつひとつ、版画に描きました。例えば「聖書」では200枚、「ドン・キホーテ」では370枚にも及んでいます。これにより文字の読めない当時の多くの人々が、名作の内容を知るようになったのです。

今日の情報化社会の中で、私たちはあらゆる芸術作品と接しうる機会に恵まれています。この豊かさを当然の

ことのように思っている人もいるでしょうが、「古典」といわれる名作が一般庶民の手に届くようになったのは、つい最近のことなのです。これには印刷や映像技術の発達が大きく影響していることは言うまでもありませんが、一方で「より多くの人々に伝えたい」と切望した芸術家たちの努力があったのです。

ギュスターヴ・ドレは、そんなタイプの第一人者とも言えましょう。ダンテ作「神曲」を素材に、ドレがどのような世界を版画で描いたのか。それこそ「言葉」では表現できないものです。

会場には、3面のスクリーンが並列に設けてあります。マルチスクリーンと呼ばれる新しい映像方法です。3,000枚の版画がスライドを通してダイナミックに展開されます。1時間半にわたり幻想的な空間が創造されるわけです。映画ほど連続的な動きをしません。かといって、一般のスライドほど断続的なものでもありません。まさしく「電気紙芝居」なのです。

音楽は「吉野大作&プロステティユート」が担当します。もちろんライブ演奏です。ビートのきいたロックのリズムが、ドレの世界をよりいっそう強烈なものに変えてくれるでしょう。

13世紀の文学作品「神曲」を、19世紀の画家の目と20世紀のミュージシャンの耳で再現するのです。ヨーロッパ中世のキリスト教世界がどんなものだったか、現代の私たちにも理解できる普遍性が必ずあると思います。

※当日、このチラシを持参されますと、入場料を200円割引きます。



電気紙芝居

超・ルネッサンス'84

学校
法人 **河合塾**



文化講演会

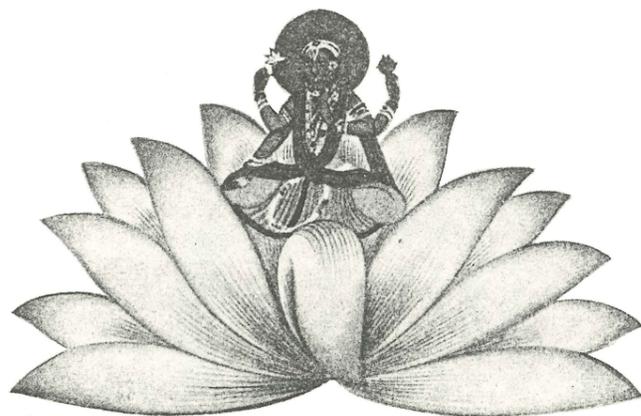
●
“天国、極楽、シャングリラ”
中沢新一 (宗教学・人類学・記号学者)
東京 草月ホール

●
“アジア映画の傾向と感性”
川本三郎 (評論家)
広島 青少年センター

●
“中国人のユートピア観と西洋文化”
上野昂志 (評論家)
大阪 セルシーグランドホール

●
“大衆文化とシンボル”
木村恒久 (デザイナー)
福岡 都久志会館

●
“東洋の多元的世界と現代”
三浦雅士 (評論家)
名古屋 愛知県勤労会館



電気紙芝居



インドの宗教画十「虎豹別墅」ドキュメントによる
『全方位極楽』——アジア・バロック

◎ディレクション 谷川晃一 ◎シナリオ・構成 宮迫千鶴 ◎作曲 巻上公一
◎撮影 七咲雅一 ◎撮影助手 竹田勝秋 ◎協力 中沢新一
◎資料提供 越川礼子 ミニクラブ 「虎豹別墅」研究会
◎企画・制作 学校法人 河合塾
音★楽 ヒカシユール

ギュスターヴ・ドレの版画による
『天国と地獄』——ダンテの神曲

◎ディレクション 谷川晃一 ◎シナリオ・構成 谷口江里也 ◎作曲 吉野大作
◎撮影 七咲雅一 ◎撮影助手 竹田勝秋 ◎資料提供 NADIR FOUNDATION
◎企画・制作 学校法人 河合塾

音★楽 吉野大作&プロステイテュート

ギュスターヴ・ドレの版画による
『伝説のアバロン』——アーサー王物語

◎ディレクション 谷川晃一 ◎シナリオ・構成 谷口江里也 ◎作曲 吉野大作
◎撮影 七咲雅一 ◎撮影助手 竹田勝秋 ◎資料提供 NADIR FOUNDATION
◎企画・制作 学校法人 河合塾

音★楽 吉野大作&プロステイテュート

音楽★ライブ

吉野大作

昭和26年、群馬生まれ

横浜国立大学蒼翠寮出身

アヴァンギャルド・ロック・バンド「吉野大作&プロスティテュート」のリーダーとして

東京、横浜を中心に活動を続ける。

81年12月、ジャパンレコードよりLP「死ぬまで踊りつづけて」をリリース。

現在、次作を準備中。

また、漢文講師として、横浜の高校で教えているという変わりだね。

作詞、作曲の他、フリー・ライターとして雑誌等に文章を発表する一方、TVC Mなどの仕事も多くこなしている。

自称、シンガー・ソング・ティーチャーであるが、既成のジャンルにあてはまらない近未来的マルチ人間である。

自伝的マルチ人間である。

また、漢文講師として、横浜の高校で教えているという変わりだね。

作詞、作曲の他、フリー・ライターとして雑誌等に文章を発表する一方、TVC Mなどの仕事も多くこなしている。

自称、シンガー・ソング・ティーチャーであるが、既成のジャンルにあてはまらない近未来的マルチ人間である。

また、漢文講師として、横浜の高校で教えているという変わりだね。

作詞、作曲の他、フリー・ライターとして雑誌等に文章を発表する一方、TVC Mなどの仕事も多くこなしている。

自伝的マルチ人間である。



吉野大作&プロスティテュート

／ ヒカシュー



デビュー作『二十世紀の終りに』、デビューアルバム『ヒカシュー』発売以来、『夏』、『うわさの人類』と、テクノポップス界において超ユニークな個性でニューウェーブ旋風をまき起してきたロックグループ。

グループ結成以来7年、ベンチャーズ、ゲルニカ、コント赤信号とのジョイント・リサイタルをはじめ、CFソング「白いハイウェイ」、テレビドラマ「ブラックジャック」主題歌

映画「チェンジリング」のテーマ曲、フアッション・デザイナー、ヨーガン・レールのフ

アッションショー音楽を担当、写真集『アンバランス』の刊行など、その活動は多方面にわたる。

また「ヒカシュー」としてだけでなく、メンバーはそれぞれ個性的な活動を展開している。

なかでも巻上公一は、大森一樹監督の映画『風の歌を聴け』に出演、エッセイ集『宇宙の右翼・水中の左翼』（パルコ出版）の刊行

ソロアルバム『民族の祭典』などのマルチ・パフォーマーであり、井上誠は、ソロアルバム『ゴジラ伝説』で注目されている。

■ 全日程

■ 三月六日(火)・七日(水)

東京―草月ホール

『天国と地獄』『伝説のアバロン』(六日(火))
ライブ・吉野大作&プロスティテュート

『全方位極楽』(七日(水))
ライブ・ヒカシュー

講演 中沢新一

■ 三月八日(木)

広島―青少年センター

『全方位極楽』
ライブ・ヒカシュー

講演 川本三郎



■ 三月九日(金)

大阪―セルシーグランドホール

『天国と地獄』
ライブ・吉野大作&プロスティテュート

講演 上野昂志

■ 三月十日(土)

福岡―都久志会館

『全方位極楽』
ライブ・ヒカシュー

講演 木村恒久

■ 三月十三日(火)・十四日(水)

名古屋―愛知県勤労会館

『天国と地獄』『伝説のアバロン』(十三日(火))
ライブ・吉野大作&プロスティテュート

『全方位極楽』(十四日(水))
ライブ・ヒカシュー
講演 三浦雅士